

令和5年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立 南砂小 学校

2. 令和5年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学びの過程を視覚化し、単元全体を構想することで、児童が見通しをもって活動に取り組むことができた。 ・児童が地域の方とともに立川産の野菜作りをすることで、立川の農業に対する思いや願いをもって意欲的に活動に取り組むことができた。
立川市民科の取組の課題	<p>【課題】 児童が単元の初めにもった目的意識・相手意識を単元の後半まで十分持続させたかった。</p> <p>【改善策】 課題設定の段階で体験やゲストティーチャーの話聞く等、伝えたいという思いや願いをもたせる。</p> <p>【課題】 単元の終末で、すべての児童に地域に対しての具体的な思いや願いをもたせたかった。</p> <p>【改善策】 学習の計画を立てる際には、より具体的な単元のめあてや学習活動を考えるようにする。</p>

3. 令和5年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思 わない	思わない	わからない
36%	33%	8%	2%	21%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思 わない	思わない	わからない
40%	46%	2%	0%	12%